

<液晶プロジェクトでの発表方法について>

講演にはOHPあるいは液晶プロジェクトを使用することができます。液晶プロジェクトによる発表には、会場備え付けのパソコン（ウインドウズXPおよびパワーポイントXPがインストールされています。動画などパワーポイント以外のプレゼンテーションソフトは使用できませんのでご注意ください）を使用していただきます。ファイルはCD-RまたはUSBフラッシュメモリでお持ちいただき、会場備え付けパソコンへのファイルのコピーは各自で行なっていただきます。

平成17年企画発表プログラム

（2005年1月11日現在）

第1日 3月28日(月)

[A] 資源開発・循環における資源経済学的作用 第2会場

講演 番号	開始 時刻	講演 題目	講演者・共同研究者
			企画者：西川有司(三井金属資源開発) 司会 安達 毅(東大)
A-1	9:20	21世紀の資源フロンティア	三井金属資源開発 西川有司
A-2	9:45	銅鉱業における探鉱活動の役割	メタル経済研究所 澤田賢治
A-3	10:10	品位調整を目的とした採掘シミュレーションにおけるGAの改良	関西大学 伊藤俊秀・西山 孝
	10:35 休憩10分	司会 伊藤俊秀(関西大)
A-4	10:45	金属の国際資源循環について 物量及び資源経済学の両側面から	環境研 村上進亮・寺園 淳・森口祐一
A-5	11:10	資源開発プロジェクトの特徴を考慮したリアルオプション分析	東大 安達 毅・茂木源人
A-6	11:35	SSA法の改良による多段階多資産プロジェクトのリアルオプション分析	東大 陳 菲・安達 毅・茂木源人

[B] 希薄有害イオンを含む廃水の迅速完全除去法 第7会場

講演 番号	開始 時刻	講演 題目	講演者・共同研究者
	9:20	企画者挨拶	企画者 佐々木 弘(早大) 早大 佐々木 弘
B-1	9:25	界面特性を利用した固定化バクテリアを用いる希薄鉛およびカドミウムの除去	サントリー 生木大志, ライオン 勝賀瀬暢一, 三菱マテリアル 林 浩志 ライオン 二瓶智也, 早大 山田貴子・所 千晴・佐々木 弘
B-2	9:50	界面特性を利用した固定化バクテリアを用いる希薄ヒ素およびセレンの除去	同和鉱業 白鳥寿一, 三菱マテリアル 林 浩志・サイボウズ 河合真知子 早大 中島信裕, 本多幸太・所 千晴・佐々木 弘
B-3	10:15	希薄ヒ素の界面特性を利用した迅速分離	日本製紙 平井健二, 旭電化工業 清水伴紀, 早大 小出康夫 Geronimo Badulis・ 中本慶介・所 千晴・佐々木 弘
B-4	10:40	表面改質した繊維状スラグによる希薄カドミウムイオンの迅速分離	栗田工業 山崎武志, 旭電化工業 桜井 淳, 住友商事 高村 豊 早大 酒井 哲・所 千晴・佐々木 弘

- B-5 11:05 表面改質した繊維状スラグによる希薄セレンイオンの迅速分離
同和鉱業 宮澤 寛, 月島機械 高尾 大, 三菱マテリアル 林 浩志
早大 小林明浩・梅野快世・所 千晴・佐々木 弘
- B-6 11:30 希薄有害イオンを含む廃水の迅速完全除去法に関する総括
早大 佐々木 弘

[C] 粉体の精製に関する最近の展開

第8会場

講演番号	開始時刻	講演題目	講演者・共同研究者
			企画者 藤田豊久(東大)
C-1	9:15	液液抽出による蛍光粉分離と凝集体構造の展開 東大 大槻晶・藤田豊久, 秋田大 松田光明・柴山 敦	
C-2	9:30	非球形粒子の充填率に関する研究 東大 中川剛直・溝呂木 茂, 早大 所 千晴, 東大 岡屋克則・定木 淳	
C-3	9:45	電気泳動移動度の差を利用した微粒子の分級に関する一考察 関西大 柴田 亮・村山憲弘・山本秀樹・芝田隼次	
C-4	10:00	二成分系粉碎における各種優先破壊・単体分離モデルの比較 早大 大和田秀二	
	10:15 休憩15分	
C-5	10:30	特別講演 微粉碎域における粉碎仕事量予測の最近の展開 山形大 神田良照	
C-6	11:15	特別講演 ジグ選別機の理論と最適化への挑戦 九工大 陣内靖介	

第2日 3月29日(火)

[D] データ統合と空間モデリングの展望 地球科学現象のより深い理解のために

第3会場

講演番号	開始時刻	講演題目	講演者・共同研究者
			企画者 小池 克明(熊大)
	9:00	企画者挨拶 熊大 小池 克明	
D-1	9:05	データ統合と空間モデリングの現状と課題 産総研 古宇田 亮一	
D-2	9:25	ハードデータとソフトデータの組み合わせ 衛星画像を用いた海域水温分布推定への適用例 熊大 小池克明・劉春学・田村綾子	
D-3	9:45	広域防災のための3D震源マッピング 海洋先端技術研究所 植木俊明	
D-4	10:05	広域地質リモートセンシング - 資源探査への応用 - 資源・環境観測解析センター 荒川 泰	
	10:25 休憩15分	
D-5	10:40	中国・新疆ウイグル自治区におけるマグマ・熱水系鉱床有望地の抽出 JOGMEC 鈴木 徹・山本邦仁・中島信久	
D-6	11:00	Remote sensing and GIS integration for groundwater potentiality mapping in Sinai Peninsula, Egypt 熊大 Alaa Masoud・Katsuaki Koike	
D-7	11:20	GISを用いたトンネル湧水予測システムの開発 九大 三谷泰浩	
D-8	11:40	地形・地質学的要素を考慮した地すべりポテンシャルマップの作成 産総研 川畑大作	

[E] 重金属による土壤汚染とその修復

第 6 会場

講演 番号	開始 時刻	講演 題 目	講演者・共同研究者
			企画者 千田 侖・井上千弘(東北大) 司会 井上千弘(東北大)
	9:00	企画者挨拶	東北大 井上千弘
E-1	9:05	フッ素、ホウ素含有土壤処理の基礎試験	東大 藤田豊久
E-2	9:25	ヒ素汚染土壤の浄化について	岩手大 向後弘志・工藤靖夫・中澤 廣
E-3	9:50	地下水・土壤中のセレンの動態	九大 笹木圭子
	10:15 休憩15分	司会 笹木圭子(九大)
E-4	10:30	鉛汚染の歴史と現状	秋田県立大 菊地英治
E-5	10:55	土壤中のシアンの形態	北大 恒川昌美・伊藤真由美
E-6	11:20	汚染マトリックスとしての土壤	早大 佐々木 弘・所 千晴

[F] 温室効果ガス削減への取り組み

第 5 会場

講演 番号	開始 時刻	講演 題 目	講演者・共同研究者
			企画者 小出 仁(早大) 司会 島田荘平(東大)
F-1	13:00	京都メカニズムのリスク分析とその活性化のための方策	東大 松橋隆治
F-2	13:30	企業における京都議定書対応とその現状	みずほ情報総研 瀬戸口泰史
F-3	14:00	京都議定書以降の二酸化炭素排出抑制における技術の役割	地球環境産業技術研究機構 秋元圭吾・本間隆嗣・佐野史典・友田利正
	14:30 休憩15分	司会 金田博彰(東邦大)
F-4	14:45	(財)石炭エネルギーセンターの温室効果ガス削減への取り組み	JCOAL 藤岡昌司・平澤博昭
F-5	15:15	CO ₂ 地中貯留ビジネスと沿岸域調査の展望	電中研 阿部信太郎, 海洋先端研 植木俊明, JOGMEC 江波戸俊和, 産総研 岸本清行 楠瀬勤一郎・古宇田亮一, 神奈川県 杉原英和, 産総研 鈴木浩子, 海洋研究機構 徐 垣 国土地理院 丹羽俊二, 原子力発電環境整備機構 濱田崇臣, 海上保安庁 渡辺一樹
F-6	15:45	弾性波トモグラフィによるCO ₂ 挙動のモニタリングについて	地球環境産業技術研究機構 薛自求・大隅多加志
F-7	16:15	CO ₂ 地中固定に関する新技術の展望	早大 小出 仁

第 3 日 3 月 30 日(水)

[G] 鉱業史

第 1 会場

講演 番号	開始 時刻	講 演 題 目	講演者・共同研究者
			企画者 間瀬一夫(日本鉱業史研究会)
G-1	9:30	忘れられた鉛鉱石：硫酸鉛鉱 - 山口県赤・小野銀銅山跡の調査報告 -	日本鉱業史研究会 井澤英二・吉川竜太・中西哲也
G-2	10:00	山口県美東町銭屋遺跡から産出した粘土鉱物の特徴	日本鉱業史研究会 吉川竜太・井澤英二・中西哲也
G-3	10:30	埼玉県秩父地方の産金について	新日化環境エンジニアリング 大石 徹
G-4	11:00	「日本鉱業史研究」および「鉱業史講演集」(資源・素材学会春季・秋季大会)の電子文書化	日本鉱業史研究会 鈴木真夫
G-5	11:30	鉱山司小坂出張所 - 官営小坂銀山の発足 -	日本鉱業史研究会 吉田國夫

[H] 特別企画 残壁ハンドブック

5 7 号館

講演 番号	開始 時刻	講 演 題 目	講演者・共同研究者
			企画者 尾原祐三(熊大)
H-1	9:00	はじめに	熊大 尾原祐三
H-2	9:10	2 章 調査試験法	山口大 石田 毅
H-3	9:50	3 章 安定解析	北大 金子勝比古
	10:30 休憩10分	
H-4	10:40	4 章 現場計測法	熊大 尾原祐三
H-5	11:20	5 章 設計・造成・管理	東北大 松木浩二
	12:00 昼休80分	
H-6	13:20	6 章 緑化と景観	岩手大 大塚尚寛
H-7	14:00	7 章 残壁の現状と崩壊事例	東大 山富二郎
	 休憩20分	
H-8	15:00~17:00	パネルディスカッション「残壁造成への取り組みと今後の課題」	